

巻頭特集

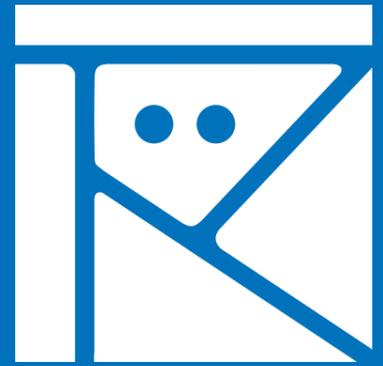
都市情報学部で学ぶ  
「まちづくり」のかたち

学びを深める専門講義

卒業生の今

学生たちがつくるキャンパス図書館

学びのコミュニティ CBML2021



名城大学 都市情報学部

学部の窓

No.27 | 2022



# 暮らすひとの笑顔のために 「都市×情報」を科学する

名城大学都市情報学部は、人が住みやすい新しい都市像を創造し、  
情報化社会に役立つ人材を育成する全国唯一の学部です。  
現在の都市が抱える諸問題を総合的に解決するための  
視野と知識の修得をめざして幅広い教育を実践しています。



## 1・2年次

### “都市情報学”とは何か、その概念を知る

一口に“都市情報学”と言っても、その学問領域は広く、文系・理系の枠に留まりません。そこで、1年次に『都市情報学概論Ⅰ・Ⅱ』を開講し、今後4年間の学びや研究のテーマを紹介していきます。授業は都市情報学部の全教員がオムニバス形式で担当。都市情報学部の学びの広さに触れることができ、都市問題に対する関心を引き出します。

### 情報処理の基礎的能力を修得

1・2年次に履修するコンピューター演習科目は、少人数制できめ細かく指導。演習を通して、必要な基礎知識や技能、OS (Windows・Linux) の操作方法や、コンピューター言語 (VB・C言語)などを学び、高度情報社会で活躍できるスキルを身に付けます。

## 3・4年次

### 新しい都市の創造をめざし、5つの専門科目群を設置。少人数ゼミナールにて問題発見・解決能力を育てる

主に3年次では進路志望に沿って各科目群の科目を横断的に学習します。ゼミナールは1ゼミナールあたり8人前後の徹底した少人数教育で行います。3・4年次の2年間にわたり、

対話や討論、実習、調査等を通じて問題の分析および解決の能力を養い、発表等の技術を身に付けます。各自の研究テーマは卒業論文としてまとめ、発表します。

「学部の窓」No.27発行にあたり、ご挨拶を申し上げます。平素より、本学部の教育・研究にご理解とご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

平成7(1995)年4月に、名城大学可児キャンパス(岐阜県可児市)に開設された都市情報学部は、今年度末で創立27周年を迎えることとなります。この間、23年目となる平成29(2017)年4月に、開設して1年経ったばかりのナゴヤドーム前キャンパス(名古屋市東区)に移転し、現在の姿となりました。その間、時代とともに、学部を取り巻く状況は変化してきましたが、その都度、カリキュラムの修正などを行いながら、私たちは一貫して、設立当初に学部の掲げた目標である「都市問題の解決」「未来の都市創造」のための教育・研究に取り組み、学部の伝統を積み重ねてまいりました。

さて、この1年を振り返ってみますと、「コロナ禍」2年目の学部運営であったということに尽きます。学生のみなさんにとっては、「コロナ禍」2年目の学生生活であったといえるでしょう。ただ、1年目のようなキャンパス閉鎖は行われず、平常通りの通学ができたことは幸いでした。その中で、学生生活の基本となる授業においては大きな影響がありました。対面授業においては、マスク着用が必須のうえ、「千鳥配置」の着席と窓や扉の開放が徹底され、教室の「千鳥配置」収容定員を超える授業については、遠隔授業(オンライン実施)となりました。また、各種の学外実習や、部・サークル等の課外活動が制限されるなど、平常の学生生活とは比べ物にならないほどの不自由な環境を強いられました。

「コロナ禍」2年目ということもあり、突然始まった1年目とは様相が異なり、それなりの準備と心構え、それに「順応」があっただけ、学生のみなさんはもとより、教職員においても、現況に柔軟に対処することができ、内容的には平常時と比べてそれほど遜色ないことを実行できたのではないかと感じております。この点、多くのみなさまに感謝申し上げる次第でございます。

令和4(2022)年度から、本学部は新しいチャレンジを始めます。カリキュラムにおける観光分野の科目の充実です。「まちづくり」に対する1つの視点という意味で、観光が非常に重要であるからです。本学部において観光系の科目を学ぶ方に「キャリア認証」プログラムを提供します。要件を満たした方には、『キャリア認証プログラム(ツーリズム分野)』の修了証を交付し、観光分野での活躍をサポートします。

令和6(2024)年度に迎える創立30周年を間近に控えて、本学部はさらなる飛躍を続けてまいり所存でございます。本学部の今後どうぞご期待をお寄せください。今後とも、本学部への変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

名城大学 都市情報学部 学部長

亀井 栄治

## 都市情報学部の「学部の窓」とは

光や風を取り入れたり、景色を眺めたりする「窓」。窓には、こちら側とむこう側をつなぐ役割があると思います。この「学部の窓」は、都市情報学部とのさまざまな「つながり」を共有します。この一冊を通して、地域や社会とのつながり、先生や卒業生、後援会の方々とのつながりを感じてもらえたら嬉しく思います。

## 学部の窓 No.27 | Faculty News 2022

発行日: 2022年3月17日

編集・発行: 名城大学 都市情報学部 後援会

編集委員会 委員長: 手嶋 正章

委員: 杉浦 真一郎, 杉浦 伸, 山谷 克

※本誌取材は大学構内のルールを遵守し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上でおこないました。



---

---

まちへ踏み出す、一歩目を。

---

---

私たちが暮らしている、まち。  
「まちづくり」を学ぶ、私たち。

でも「まちづくり」って、一体なんだろう。

答えはまだ見つからないけれど  
ここで学ぶたびに、少しずつ輪郭が見えてくる。

探している答えはきっと、まちにある。

さあ、キャンパスを起点にして  
まちへ一歩、踏み出そう。

「都市情報学部で学ぶまちづくりのかたち」

CROSS TALK

URBAN SCIENCE



**1年** 柿元康希さん  
まちづくりに興味はありつつも、将来の進路はまだ不透明。パソコンをいじったりするのが趣味で、情報系科目に興味がある。

**4年** 高澤怜那さん  
名古屋市の有松地区出身。大学1年のときに「ミス絞リ」として活動し、その後も有松で地域づくりに積極的に関わっている。

**修士1年** 西山和寛さん  
大学1年から大曽根商店街に関わりながらサークル「Lプラネット」を立ち上げる。現在は「まちコーディネーター」として活躍。

文理融合で、さまざまなことが学べる都市情報学部。今回は、地域に飛び込んでまちづくりに関わっている先輩2人と、まちに興味を持つ1年生の3人による座談会。「まちづくり」とは？について考えます。

Q & A 先輩に質問

Q. 大学生のうちにやっておいた方がいいことは？

西山さん

CBMLなどのフィールドワークや、大学や社会連携センター主催のイベントやセミナーなどにいろいろ参加すると、好きなことが見つかるだけでなく、人脈も広がります。



高澤さん

「都市や情報について学んでいる学生」という、それだけで武器です。大学の中だけではなく、地元や興味のあるまちにたくさん関わって欲しいです。



都市情報学部で学びながら地域と関わる

—みなさんが都市情報学部に入学したきっかけと、現在の活動や興味があることなど、合わせて教えてください。

**高澤** 私はまちづくりに興味があったので、都市情報学部で学ぶことで何らかの形で地域の役に立てるのではないかと考えて選びました。今は地元の有松で、地域の方と一緒にまちのことに関わっています。

**柿元** 都市情報学部は、文理融合の学部でいろいろなことを学べそうなイメージがありました。また、人との関わりや価値観の共有が他学部と比べて盛んだと感じたのも大きな理由です。過去に地元のお祭りに囃子として参加したことがきっかけでまちづくりに興味を持ったのですが、今は「地域にかかわってみたい」という思いはあるものの、まだ一歩目を踏み出せていないという状況です。

**西山** 僕も高校時代にまちづくり関連のワークショップに参加したことがきっかけで興味を持ち、この学部を選びました。大学1年の頃から今もずっと、大曽根商店街・大曽根本通商店街のまちづくりにいろいろと関わっています。

**柿元** お二人とも、どうやって地域での

活動を始めたんですか？きっかけをどう掴めばいいのか、わからなくて…。

**西山** 僕は大学1年のときに、知り合いの紹介で大曽根商店街に関わり始めたのがきっかけです。その後「まちと学生をつなぐサークルLプラネット」を学内で立ち上げました。今は大曽根に「なんちゃってシェアハウス ひどこ」を開いて、大曽根に住みながら活動しています。

**高澤** 私は大学1年のときに「ミス絞リ」として有松のPR活動をしました。任期終了後は、地元のまちづくり会社の方とともに、ツアーやイベントの運営や企画、祭りの手伝いなどに参加しました。



**西山** ミス絞リ！素敵ですね。

**高澤** 地元有松のことが好きで、何かしたいと思っていたときに「ミス絞リ」の募集を知って。ミス絞リになれば、いろんなインプットやアウトプットができるかもしれないと思って応募しました。

でも、本当のスタートは任期が終了した大学2年以降。それは応募当初からずっと思っていたので、そこからは自力でがんばりました。ミス絞リとしての1年間の活動で培った人脈を辿りながら、自分の足で職人や地元の方、祭りに携わる方に話を聞きに行くうちに、せっかくの伝統文化や景観をちゃんと残していきたい、もっと知ってもらわないもったいない！と思うようになってきました。

**柿元** なるほど。お二人とも、すごい行動力ですね。でも最初って、飛び込むのは勇気いりますよね…？

**高澤** そうですね。確かに最初はとても緊張しました。でも「自分で動かなきゃ何も始まらない」という思いが大きかったです。あと、実際飛び込んでみたら本当にたくさんの人に可愛がってもらえたので、何も心配いらなかったな、と今は思います。

**西山** 最初に飛び込むきっかけさえあれば、あとは自然と繋がっていくよね。高澤さんと一緒に、可愛がってもらえるから一層がんばりたくなるのもある(笑)。

**高澤** 本当にそうですよね(笑)。まちづくりに関わっている10代・20代は意外と少なく、「まちづくりを学んでいる学生」というだけで、いろいろと助

Q & A 先輩に質問

Q. まちづくりにかかわる、一歩目って？

西山さん

「どんどんまちに飛び込む」ことですね。自分が好きなまちでも、知合いが関わっているまちでも、どこでもいい。まずは大曽根に一回遊びに来て！



高澤さん

自分が楽しいと思えること、興味のあることについて、どんどん行動に移してみてください。勇気を出して動いてみると、きっとうまくいくと思います。



## 都市情報学概論

この科目は「都市情報学とは何か」について、全教員がオムニバス形式で講義します。そのなかでの私の回では「魅力ある都市とは何か」「住みよいまち」「まちのかたち」について議論し、魅力ある日本の街並みや世界の街並みを紹介しています。



福島 茂 教授

PICK UP LECTURE 1

けてもらえました。今もとても楽しく、のびのびと活動させていただいています。

## 問題解決のための 手法や考え方を学ぶ

—まちづくり系（文系）も情報系（理系）も幅広く学べる学部ですが、みなさんがこれまで興味を持った講義について教えてください。

**高澤** 日本と海外の景観を比較した講義が記憶に残っています。**1** 文理融合の学部なので、自分が興味ないと決めつけていたことも含め、いろいろ学べたことで視野が広がったと思います。

**西山** 柄谷先生の「都市の計画」は、都市計画のイロハがわかった気がします。**2**

**柿元** 僕はまだ必修科目ですが、英語の文献を通してまちづくりを学ぶ「都市学英語」がとても興味深かったです。**3**

**西山** 杉浦先生のオペレーションズ・リサーチ（OR）も、とても面白かったですね。**4** OR手法は、たとえば避難所の配置を考えることにも使えます。この数理的思考を知っていることで、できることがたくさんあると思いました。

**高澤** 私も今、鈴木（淳生）ゼミで統計

学について学んでいます。ORを用いることで具体的な数値で結果を出すことができるので、ただ統計を取るだけではなく、その関係性を数値化できることに興味を持ちました。ORを学んだことで「そういう考え方もあるんだ」ということに気づけました。

**西山** 最初、情報系の授業ってどうやってインプット・アウトプットすればいいか戸惑ったところもありましたね。



**高澤** 私も、高校生のときは数学がすごい苦手で「こんな日常生活で絶対使わない！」って決めつけていたのですが（笑）、大学で学んでからは「日常に活かせる場面がある」ということが分かって、だんだん面白くなってきました。統計ではデータを収集して分析していくのですが、集めたデータにいろいろな発見がありますし、ただ手法を学ぶだけではなく、自分の好きなモノ・コトに当てはめなが

ら「こんな分析ができそう」と考えるのも楽しいですね。

**西山** 学部生のときは、まちづくり系の講義も情報系の講義も、「これは大曾根で使えそう」と思いながら、いろいろな事例を聞いたり、手法を学ぶことが多かったのが楽しかったです。自分が知っているまちに引き寄せることで、より理解が深まると思います。

## まちを想う瞬間から まちづくりは始まる

—みなさん、それぞれが思う「まちづくり」について、教えてください。

**西山** 今の自分にとっては「一人ひとりの市民が、まちにおいて幸せに生活していくための（自己実現）手段のひとつ」と感じています。僕にとってまちづくりは、自分が幸せに生活していくための手段。もちろん、まちづくりという営みに携わるときに「誰かのため」「まちのため」は考えていますが、常に「自分にとって」を意識するようにしています。市民によるまちづくりは、ボランティアだけで進みすぎると息切れしてしまうんですね。僕は「息切れのしないまちづくり」のために、「この活動が自分にとってどのような意味を持つのか」を考える

## 都市学英語

鈴木（淳生）クラス<sup>※</sup>では、都市に関する歴史・文化などを英語の文献を輪読することにより、知識を深めています。さらにフィールドワークを実施し、その結果をもとにグループごとに発表をおこなっています。このことにより「まちづくり」を多方面から学びます。

※都市学英語は学部専任教員9名によるクラス分け1年次必須科目講義



鈴木 淳生 教授

PICK UP LECTURE 3

ことを大切にしています。

**高澤** とても共感します。私も「まちづくり」という言葉から、活動前は「地域を盛り上げよう！」「よりよい暮らしのためにできることを！」と、漠然と大きなイメージを抱えていました。でもそう考えてしまうと「ちっぽけな自分に、できることなんてあるのだろうか…」と、考えれば考えるほどに自分は無力だと思えてくるんです。「まちづくり」って最初は、住みやすいまちにするためのハード整備とかのイメージでしたし。

**柿元** 今、まさに僕がその状態です。まちづくりに興味はあるものの、どうしてもお役所仕事のような、ハード整備のような…そんなイメージがあって。「誰かのために」「まちのために」と意識すると、僕なんかにはできることはあるのだろうか、と無力さを感じるというか…。



**高澤** まちのことを想う、その瞬間からまちづくりは始まるんじゃないかな。「誰かのため、まちのため」も大事だけど、

自分で何かやりたい、やれることはないか、と思った瞬間に、柿元くんのまちづくりは始まっていると思う。

**西山** 本当に高澤さんの言う通りだと思います。今ここで話したところから、もう始まっているから、安心して。

**柿元** そうなんですか…！

**高澤** まちづくりって本当に難しいんですけど、私の場合は「有松のことをもっと知りたい」という思いがきっかけなので、まちのことを知って、同時に学部でいろんなことを学ぶうちに、おぼろげに「これがまちづくりなのかも」って少しずつ思えてきました。

**柿元** なるほど。

**高澤** 私は、まちづくりとは意思を共有することだと思っています。活動を通して、多くの人と意見を共有する、意思や夢を共有することで、思いもしていなかった発見や再確認ができる。そうすると、思い描く未来のために逆算してやりたいこと・すべきことが少しずつ見えてくる。「まちを動かそう」「変えてみせる！」という大きな思想に引っ張られず、一人ひとりの意思を共有することで着実に歩いていくのが、まちがつくられていく過程なんだと実感しました。

**西山** 本当にそうだと思います。地域にいる中の人も、外の人もみんなで「意思

を共有する」「思いを共有する」こと。自分一人では何もできないけれど、仲間が増えて、その思いを共有できれば、少しずつ変わっていくんですね。それが、まちづくりの面白さだと思います。



**高澤** そこにずっといる地元の人たちばかりでは、なかなか意思を共有しづらい場面でも、学生の立場として私たちがたくさん人の話を聞かせてもらう機会があれば、いろいろな可能性の引き出しを開くこともできるかもしれませんよね。

**西山** そう、外の人間だからできることって、たくさんあるんです。僕は学部4年のときの研究テーマでもあった「大曾根の空き店舗」の調査を行ったのですが、地域の方々同士ではなかなか話しづらい空き店舗のオーナーさんに“ヨソモノ”として話を聞くことができ、まちの新たな動きにつながったことで、地域の方からもとても感謝されました。今僕は「まちコーディネーター」を名乗って活動しています。何かをやりたい人と、ま

## 都市の計画

都市計画に関する基本的な法制度の解説をした上で、国内外の具体的な事例を多く紹介し、議論を深めます。よりよい都市の形成に向けて、いかに考え、行動し、変えていくのか。手掛かりをつかむヒントの提示や思考の訓練に重点を置いています。



柄谷 友香 教授

詳しくはP10をチェック!!

PICK UP LECTURE 2

## 評価のOR

「評価のOR」、「経営のOR」の講義で扱うオペレーションズ・リサーチは、都市の様々な問題を数学、統計学、数理モデルを用いて分析、解決する手法です。この手法は社会に出てまちづくりや様々なことに携わる学生さんに役立つと期待しています。



杉浦 伸准 教授

PICK UP LECTURE 4

## CBML (Community Based Machizukuri Learnin)

自治体の現場をフィールドに、まちの課題を発見・検証して解決に向けて取り組む、学生主体の実践型教育プログラム。「グッドシティ(住みやすさ・暮らしの価値とは?)」を考えます。2021年度は1年生対象。

今年の活動はP21をチェック!!

PICK UP LECTURE 5

ちをつなぐことができたらいいな、と。高澤さんの言葉を借りるなら「想いを共有する」ために、人と人をつなぐ存在になるのが理想です。

### 将来の自分が開ける 引き出しを増やす

—都市情報学部は、どんな学びができる学部だと思いますか。

**柿元** 僕は、ざっくりと「都市」か? 「情報」か? と問われたら、実は情報の方に興味があります。パソコンをいじったりするのが趣味なので、情報系の講義がとても好きなんです。でも都市情報学部で学ぶうちに、まちのことも興味がわいてきて何かしたいなって思い始めました。まだ「都市」と「情報」のふたつが全然つながっていないので、どう結び付けたいのか先輩方にぜひお聞きしたいです。

**高澤** 情報科目が得意で、まちにも興味があるなんて、それこそ都市情報学部ぴったりな無敵の人材なのでは! 地域にも求められる貴重な存在だと思う。

**西山** この学部で学べる「都市」と「情報」は、それぞれ大切な学びですが、どうしても近視眼になって二極化してしまう人がほとんどだと思います。でも実際まち

に出ていくと、情報処理とか統計とかを活用したいというニーズはたくさんあるんです。でも手法を知らないと、生かすことができない。そうした知識や技術をインプットした人が、アウトプットする場所を探しているんだったら、そのチャンスは地域にたくさんあると思います。

**高澤** そこに辿り着くには「実際のまちを見たことがある経験」が必要だと思います。その経験があると、都市情報学部の学びで「まちづくりに生かせるツール



はこんなにあるんだ」ということがわかると思います。それを実際、自分が現場で使いこなせるかどうかと言われるとまだ私は全然できていませんが、でも「使える」ことが「わかる」ことが重要なかな、と。

**西山** 僕は、未来の自分が辞書を引けるように、いろいろな学問の引き出しを作ってラベリングしているイメージです。何か問題にぶつかったときに、引き

出しを開けて「そういえばこれを使えそう」と、思い出せるようにしたいです。**高澤** そうですね。その引き出しをどんどん増やしていける学部だと思いますし、いろんな学問を横断できることが、この学部の強みだと思います。

**柿元** 横断して学ぶこと、実際の現場を見ることが、とても重要なのがわかりました。学内には、そういう機会ってありますか?

**西山** いろいろあるけど、まずは学部で実施しているCBMLはすごい良い機会だと思うので、ぜひ参加した方がいいと思う。**5**

**高澤** 私もすごい参加したかったです、CBML。1・2年生が本当に羨ましい!

**西山** CBMLは、実際のフィールドで話を聞いたり考えたりするワークを体験して、そこに教授の解説が入ることで、見える景色が違ってくると思う。

**高澤** 実際のまちづくりと、学部での学びがつながる瞬間って、きっとそういうところですよ。

**西山** 都市を見るための素養や視点は、この学部で培うことができるとは思います。学部での学びを踏まえて、地域に着目してみると、見える幅が広がるので、たくさんの人にそれを体験してほしいですね。

## 学びを深める専門講義

現代都市が抱える問題を解決する「都市情報学」。数多くの講義の中から6講義をピックアップし、講義内容や学びを深めるヒントについて紹介します。

企業の経済  
ミクロ経済学の考え方を味方しよう  
宮本 由紀 教授

都市と自治  
自治の歴史から過去を知り、未来を創る  
昇 秀樹 教授

都市の計画  
もっと自由に自分らしく都市計画を考えよう  
柄谷 友香 教授

認知と情報処理  
身近なものに興味を持ち分析していく力を  
鈴木 千文 助教

### 編集後記

「まちづくり」をテーマに、3人の学生による座談会を開きました。情報系が得意で、都市系にも興味を持って「何かを始めたい!」と意欲的な1年生が、活躍する先輩たちに前のめりで質問。経験豊富な先輩方が考える「まちづくり」の定義、実体験に基づいたアドバイスがとても印象深く、実りのある座談会になりました。2022年

4月からは、カリキュラムにおける観光系の科目が充実します。観光は、関連する分野が多岐にわたり、裾野の広い産業。「まちづくり」に関連する大切な視点という意味でも、観光はとても重要なキーワードです。都市情報学部でのさまざまな学びは、社会に出たあなたの可能性を拓いてくれる武器になるはず。 (編集部)





## ミクロ経済学の 考え方を味方にしよう

宮本 由紀 教授

Prof. Miyamoto Yuki

### 企業の経済

3年前期/専門部門(経済経営科目群)

#### 学問の楽しさも、大変さも経験してほしい

— 「企業の経済」は、どのような講義ですか？

この講義は「ミクロ経済学」に焦点を当て、「消費者の行動理論」「企業の行動理論」「市場均衡」について学びます。私たち消費者が「何を」「どれくらい」購入するか？という意思決定のメカニズムについて学んだうえで、企業がどのように生産量を決定するのか？市場ではどのように価格と数量が決まるのか？と展開します。都市情報学部には経済学になじみのない学生も多いので、まずは「消費者の行動理論」から順を追って進めていくことで、**少しでも自分ごととして捉え、興味を持ってもらえるようにしたい**と考えています。

— 講義を通して、学生にはどんなことを学んでほしいですか。

2年生で学んできた「都市の経済」では、日常生活のなかで些細な疑問を持つことの大切さを伝え、「学問って楽しいんだ」と思える講義を心がけました。まずは**日常的些細なことに興味関心を持つこと、学びたいと感じることが、学問のスタートライン**なんですよ。この「企業の経済」の対象は3年生。さらに「学問の大変さ」も経験する段階に入ってきます。**何度も教科書を読むこと、練習問題を繰り返し解くことの大切さ**を伝えています。学生からは「去年と同じ先生の講義とは思えない！」

#### 学生におすすめの一冊

ミクロ経済学の力  
神取道宏 著 (日本評論社)



講義の教科書の「ミクロ経済学の力」をあえて挙げます。経済学ができるのがわかりやすく厳密に書かれているすばらしい一冊です。経済学をなぜ学ぶ必要があるのか、どんなときにミクロ経済学が役立つのかが、数学ばかりではなく言葉で書かれています。この教科書を何度も読んで理解してほしいですね。

と言われます (笑)。

#### 経済学視点で問題を見つめる力を磨く

— 講義で、先生が大切にされていることを教えてください。

この講義では数学的な知識も多く使います。文系の学生には数学に苦手意識を持っている子も多いですが、ぜひ数学の便利さに気づいて欲しいですね。数学は、いろいろな人に誤解なく経済学の内容を伝えるために、とても便利なツールです。

**経済学は、社会問題を考える上でのひとつの道具、視点**です。「言われたから覚える」のではなく、「自分がなぜそう思ったのか?」「その問題にはどんな解決方法があるか?」と、経済学的な視点で見つめる力を磨いてほしいです。自分の立場だけではなく、さまざまな立場の人の視点に立ち、かつ感情論に走らず論理的に伝えること、そしてそれを、誰でも納得ができるように説明できるようになってほしいです。

経済学に限らず、この学部には幅広い分野の専門の先生がいますので、ぜひ**いろいろな分野に挑戦して、たくさんの「視点」を手に入れてください**。先生方は学問の性質の特徴も示してください。興味を持って一歩足を踏み入れることで、自分の好きな学問に出会うきっかけにもなると思います。

#### 学生の声



武田菜央さん (3年生)

高校の授業は「需要曲線」「供給曲線」というものがある前提でしたが、この講義ではそれらがどのようなものなのかという根本的なところから学べて、理解が深まりました。自ら問題を解いていくことが多く、難しいですがとても濃厚な時間です。先生は優しく丁寧に教えてくださるので、数学が苦手な人にもおすすめです。

## 自治の歴史から 過去を知り、未来を創る

昇 秀樹 教授

Prof. Nobori Hideki

### 都市と自治

2年後期/専門部門(財政行政科目群)

#### 歴史を紐解きながら都市と自治を考える

— この「都市と自治」は、どんなことを学ぶ講義ですか？

都市(自治体)が、国(中央政府)との関係で、どのようにして自治を獲得してきたのかを考えていきます。この講義では、古代・中世の都市国家の歴史を学んだうえで、**近現代の主権国家の登場、それとともに国と都市の関係がどのように変わってきたのか**についても見ていきます。グローバル資本主義の現代において、日本という国家単位は経済圏としては狭すぎるとも言われています。その考え方で誕生したのが、欧州連合「EU」です。**講義でも、EUと国・都市の関係がどう変わるのか、その中で自治の意味がどう変わっていくのか**を考えています。

— この講義で、学生にはどんなことを学んでほしいですか。

日本には、現代の都市を築いてきた長い歴史があります。ときには血を流すことで「都市の自治」を獲得してきました。ものごとを考えるうえで、**歴史的な視点はとても大切。すべての事柄に歴史があり、何らかの理由があって変化して現在がある**ということ、この先も変化を続けていく可能性、必要性があるということを知ってほしいですね。どんな政治にも、メリットとデメリットがあります。自由民主主義もそのひとつに過ぎません。現在を分析するためにも、未来を創造していくために

#### 学生におすすめの一冊

知的生産の技術  
梅棹忠夫 著 (岩波書店)



1969年発行のロングセラー。読書の方法、文章の書き方などさまざまなテーマを、WhatではなくHowで教えてくれる本です。昔はこういった方法論を教えてくれる本はなかったので重宝していましたし、今読んでも領ける、本質を突いた内容だと思います。梅棹さんの考え方は本当に素晴らしい。僕のバイブルです。



も、歴史を知り深めることの大切さ、覚えるだけでなく理解することの重要性を伝えています。

#### 自治を学ぶこと、生き方を考えること

— 歴史を学ぶことで、その考え方も学んでいくのですね。

自治を学ぶということは、自分の人生設計を考えることにも繋がると思います。いろいろな自治の形態があるように、自らの生き方にもさまざまな道、身の置き方があります。**マクロな視点を持ち、自治を自らのアナロジー\*として身につける**ことができれば、人生の岐路に立ったときに自分らしい選択ができるのではないのでしょうか。

※未知の物事・深く知らない物事を既知の物事に当てはめて推論する思考方法。

— 都市情報学部で、どんな学びを経験してほしいですか。

大学とは、教養を身につける場です。大学で学ぶことは、もしかしたらすぐには役に立たないかもしれないですが、10年、20年経ったときにじわじわと役に立つことも多いです。**自分の生きていく上での指針、ものの考え方、その知見は、ずっと長く使える宝になる**と思います。明日明後日ではわからないかもしれませんが、「あのとき先生が言っていたのはこういうことか」といつか思ってもらえたら嬉しいです。

#### 学生の声



山添 浩暉さん (3年生)

教科書の内容だけでなく、国内外の時事問題を多く取り上げてくださるので、海外情勢にも詳しくなりました。ミニミニレポートと評した課題があり、提出は任意ですが、これにより学生の理解度を把握して進めてくださっていると感じます。先生はとてもお茶目な人で、ゼミでは僕らをよく笑わせてくれます (笑)。



## もっと自由に自分らしく 都市計画を考えよう

柄谷 友香 教授 *Prof. Karatani Yuka*

都市の計画  
2年前期/専門部門(地域計画科目群)

### 都市の課題を把握し、改革するために

— この「都市の計画」の講義内容を教えてください。

「都市計画」とは、都市に関わる様々な課題を的確に把握し、よりよい将来を実現するために、都市やそこで暮らす人たちに対して働きかける行為だと考えています。この講義ではまず、都市計画の立案から実施までのプロセスで必要とされる基本的な法制度や仕組みを解説します。必要十分な基礎知識を得たうえで、**環境や景観、防災などの都市問題や国内外の具体事例を紹介し、問題の本質を問いながら解決に向けた議論を展開**します。

レポート課題では「わがまち」に置き換えて、問題の発掘とサーベイ、解決策を自ら考えてもらいます。講義で学んだ知識や方法論を「わがこと」として昇華させることが目的です。

— 講義では、たくさんの事例から学んでいくんですね。

もちろん、都市計画のためには法制度の知識が必要不可欠です。しかし、都市計画初学者を対象としているこの講義では、**法制度の解説は可能な限り最小限に抑え、国内外の具体的な事例を多く紹介する**ようにしています。法制度を覚えることに重点を置きすぎると、制度前提のプランニングしかできなくなってしまふ可能性があります。既存の制度をなぞるだけでは本来行うべき都市計画の改革ができません。**都市計画に対する「考**

**え方**」をどう変えていく必要があるのか、手掛かりをどうつかむのか、そのヒントの提示や思考の訓練に重点を置いています。若いうちに、志高く発想を自由に広げられるようにしておくことは、都市計画の専門家を目指す学生にとってはもちろん、その他多様な道に羽ばたく学生にとっても、大切な経験になると思います。

### ものごとを見つめる視点、プランニングの力

— 講義を進めていくうえで、先生が大切にしていることは？

都市計画、プランニングといわれる能力や視点は、一度身につけると社会のさまざまなシーンで活かすことができます。頭で理解するだけでなく、しっかりと身につけられるよう、最新の都市計画に関する知識と話題を提供しながら、できる限り楽しく講義を進められるよう、心がけています。**学問を追求するモチベーションは「楽しいから学ぶ」や「面白いからもっと学びたい!」という思いに勝るものはありません。**私も学生と一緒に、さまざまな問いを面白がりながら講義を楽しんでいます。以前、ある学生から「先生って楽しそうに講義されますね」と言われたことがあります。私にとっては最高の褒め言葉と喜んでます。

### 学生におすすめの一冊

シビックプライド 都市のコミュニケーションをデザインする  
シビックプライド 都市と市民のかかわりをデザインする  
シビックプライド研究会(宣伝会議)



国内外のさまざまな取り組みを通して、シビックプライドを醸成する手法に迫っているとても興味深い本です。より多くの事例を知ること、自らの知見を広げることもつながります。また、この本はまちの「人」にもしっかりスポットが当たっています。「人がまちをつくる」ことも感じてもらえると思います。

### 学生の声



萩 祐梨子さん(2年生)

「正便益・不採算」はとても興味深い考え方でした。都市問題の多くは人に寄り添った思考で解決策を見つけていくため、お金では測れないものがあることを学びました。先生の講義は、何より先生ご自身の都市への深い関心や探求心が伝わってくるので、私たち学生も、自然と好奇心や意欲が高まっていると感じます。



## 身近なものに興味を持ち 分析していく力を

鈴木 千文 助教 *Assistant Prof. Suzuki Chifumi*

認知と情報処理  
3年前期/専門部門(情報数理科目群)

### 毎日発している「音声」を、理論的に紐解く

— 「認知と情報処理」は、どのような講義ですか？

講義では、主に音声や音を扱っています。**音声、つまり「人が発した声」について、さまざまな角度から学びます。**音声には個人的な特徴が含まれますが、この要因となっているものについて解説したり、発声された言葉や単語に対して、アクセントや構成する要素について分析したりします。音色の情報の基礎についても触れるほか、「聞く」ことにもフォーカスし、音声や音を聞くときに耳がどのようなメカニズムで働くのかも学んでいきます。音声は話し声だけではなく、歌声も含まれます。**話声と歌声にはどんな違いがあるのか？ 歌声特有の特徴は何か？**など、学生の興味の対象を広げながら、講義を進めています。

— 理論を学びつつ、実際に音を聞く機会もあるんですか？

はい。音楽データに対する処理についての講義では専門用語を使って説明しますが、理論だけでは分かりにくいので実際に処理した音楽データを聞いてもらいます。それ以外にも、音声を発声する際の発声器官の動きを映した映像を流すこともあります。聴覚的、視覚的に扱っているものがデータ化できる＝明確になることを経験することで、より理解が深まるのではない

かと考えています。

音声は誰もが日々発しているとても身近な存在ですが、じっくり学んだことはないと思います。**身近なものに興味を持つきっかけを知ること、些細なことにも「なぜ？」と考えてみる**ことなど、学びのきっかけを見つける力もつけて欲しいですね。

### さまざまな学びと出会える都市情報学部

— 都市情報学部で、どんなことを学んで欲しいですか。

都市情報学部は文理融合のとても珍しい学部で、さまざまな分野を広く、それも専門性の高い先生方から学ぶことができます。**いろいろな分野を少しずつ学べるというのは、自分自身の興味を探るにはもっとも楽しい方法だと私は思います。**深く追究していく少し前の段階で、わかりやすく一番楽しいところを、いろいろ“つまみ食い”するような感じで学べる、とても貴重な機会です。苦手意識を持っていた分野も含めて、いろいろな講義を受けてみると、面白いと思えるポイントを見つけるきっかけになると思います。自分自身が「面白そう!」「学びたい」と思える分野が見つかったら、学ぶことがもっと楽しくなるはず。都市情報学部で、自分の未来につながるような学問との出会いをして欲しいですね。

### 学生におすすめの一冊

音響学入門  
日本音響学会 編(コロナ社)



難しい数式をほとんど用いず、わかりやすい図と文で音響学の基礎的なことが学べるので、音響学の初学者には特におすすめ。理論を学ぶだけでなく、付録のDVDで実際に音で聞いて確認できるので、とても理解しやすいと思います。講義でもこのDVDを活用しています。音響学を系統的に学べる一冊です。

### 学生の声



大山 寧々さん(3年生)

音声情報処理に興味があり、受講しました。授業では実際の音声や映像に加え、理解しやすいスライドが用意されていて、どのように情報処理が行われるのかを図表を理解しながら学ぶことができます。数学を得意としない私でも、認知と情報処理における基礎知識を身に付けることができましたと思います。

個性豊かな

25

のゼミナール

学生は3年次から、関心のあるテーマのゼミナールに入ります。教授が専門とする学問や特定のテーマについて研究や討論を重ねるゼミ。教授の指導のもと、少人数制で主体的・能動的に学びを深めます。ここでは、都市情報学部の個性豊かな25のゼミナールを紹介します。

経済・経営 雑賀ゼミナール

### 良い企業の研究

「良い企業」の「良い」とは何を意味するのでしょうか。経営や利益が良いのか、人材が良いのか。安定性や知名度、信用が高い（良い）のか。雑賀ゼミでは、業界研究、企業研究を行うことで、優れた企業を発見し、世の中の仕組みを深く研究し追求していきます。この研究が、副次的に就職活動につながります。就職対策のための「自己PR」「4年間何を学んだのか」等の書き方も、徹底的に議論し指導します。

- # 企業研究
- # 業界研究
- # マネジメント力
- # 就職に強くなる

#### Topics 2021

今年はコロナ禍でも工場見学とメッセ名古屋のビジネスショーに行ってきました。毎年の恒例行事ですが、前期は業界研究と企業研究の研究活動を行い、後期は学外演習を中心に行っています。



経済・経営 鈴木(淳生)ゼミナール

### 身のまわりの都市問題を数理モデルにより解析する

身のまわりの都市に関するデータを収集・分析することにより現状を把握し、そこから問題を明らかにします。つぎにこれらの問題を、数学を用いてモデル化して解くことを目的としています。「各自が関心のあるテーマを見つける」「実際に研究をおこなう」「卒業論文を作成する」。この3つの過程を通して現実のデータから現状を分析し、都市問題の解決をはかることの重要性を身につけます。

- # 都市問題を数理モデル化
- # 統計学
- # オペレーションズ・リサーチ
- # 都市問題の解決

#### Topics 2021

今年度、3年生は統計とORの基礎を学び、4年生はこれらの手法を用いて卒業研究をおこないました。ゼミ旅行は日帰り実施。ゼミ活動がすこしずつではありますが、もどってきました。



経済・経営 宮本ゼミナール

### 地域経済学

近年、都道府県・市町村などの地方自治体に対する関心は高まっています。ゼミではまず、各地方自治体が抱える問題を発見し、その問題に対してどのような政策を行なっているか理解します。次に、その政策が適切かどうかデータを分析することで判断します。最後に、政策の改善点を提案します。根拠を持って自分の意見を主張する力を身につけるとともに、政策を実施する難しさを理解します。

- # 経済学
- # 計量経済学
- # 地方自治体
- # 政策評価

#### Topics 2021

新型コロナウイルス対策、待機児童、地域医療、地域防災…。地方自治体はさまざまな問題を抱えています。みんなが安心して暮らせるように、地方自治体の政策について一緒に考えましょう。



経済・経営 島田ゼミナール

### 会計情報と企業経営

企業は、様々な利害関係者との関わりを持っており、それらに対して経営状態を開示伝達する責任があります。その会計責任において開示伝達されるのが、企業の会計情報です。会計情報を分析することで経営状態を知るだけでなく、経営のあり方が企業業績にどう反映されているかを分析することができます。島田ゼミでは、実際の企業の会計情報を分析することで、会計の重要性について理解します。

- # 経営学
- # 会計学
- # 経営分析
- # 簿記

#### Topics 2021

今年も昨年同様にコロナ禍によって恒例の夏合宿が中止となりましたが、ゼミ生は一生懸命勉強に励んでいます。特に3年生は、簿記検定の勉強にも相当力が入っています。



経済・経営 杉浦(真一郎)ゼミナール

### 人文地理学

都市や地域における社会・経済の動きを、地理的視点で考えるゼミです。日本の大都市圏/地方圏、大都市/中小都市/農山村における様々な社会的・経済的活動を、地域差や地域間の結びつきといった地理的視点から捉えていきます。公的統計はもちろん、自身でのアンケートや現地調査を通じて得られた様々なデータから、地域の実情について把握・分析・表現（地図化・図表化・文章化）する方法を学びます。

- # 地理学
- # 地理的視点から社会を見る
- # 地域調査実習
- # 都市に対する地理的な理解

#### Topics 2021

8月末に緊急事態宣言が出た影響で、夏休みの地域調査実習（東海市）は主に10月以降に延期して実施しました。11月の日曜には、経済学部のゼミと合同で岐阜市の中心市街地を巡検しました。



財政・行政 赤木ゼミナール

### 政府や地方自治体の経済活動

国、都道府県や市町村などの地方公共団体、都市の財政制度の現状と問題点、そしてその基礎となる理論を理解し、今日的な政策を考察しています。そのために、社会的インフラなどの公共支出論、消費税や所得税などの租税論、国の借金については公債論を読み解きます。また、都道府県や市町村の役割などの地方財政論等を、制度と理論の両面から学習し、理解を深めていきます。

- # 経済学
- # 税金
- # 社会的インフラ
- # 政府の役割とあるべき姿

#### Topics 2021

2021年度も、新型コロナウイルスによる大変な年となりましたが、ゼミの活動は充実したものとなりました。引き続き活発なゼミにしたいと思います。



財政・行政 稲葉ゼミナール

### 国際関係論

世界中の都市を歩き、言語・文化・社会を学び、都市・地域・国家を理解するためのゼミです。ゼミでは英語の本を含め、文献を何冊も読むことで、世界中の都市や、日本との関係などを紐解きます。外国を学ぶことで日本をより深く理解し、外国との架け橋になることができます。また、ヨーロッパやアメリカ、オセアニア等への留学も進めており、ゼミでのアドバイスのもと、毎年何名かが留学しています。

- # 国際政治
- # 国際機構
- # 外交史
- # 海外留学

#### Topics 2021

2021年11月、名城大学とリトアニアのヴィリニウス大学の間で友好協定が結ばれました。1940年に杉原千畝がユダヤ人を助けた国であるリトアニアと、今後交流がすすむことを期待しています。



## 社会保障と社会福祉

人は赤ん坊として生まれ、老人として死んでゆくにもかかわらず、市場経済という競争原理の中で一生を生きて行かなければなりません。その中で「自分らしく生きる」「生き甲斐を感じられる人生を送る」社会の仕組みを考える必要があります。「生き甲斐」を考えることは、心の視点から物事をとらえること。ふと自分が不安になったり、目の前の困難から逃げてしまったりする理由が分かるようになります。

- # 社会保障
- # 互助型社会
- # 働き方改革
- # 超少子高齢化

### Topics 2021

働き方改革は、「労働を支えるための家庭」から「家庭生活のための労働」への意識改革だと思います。日本型雇用モデルの抜本改正が必要です。



## 公共政策の観点から都市問題を解決する

都市問題と公共政策をテーマに、都市や地域における諸課題を公共的視点から捉え、解決していく手法および方策を探求しています。人々が心豊かに安心して暮らせる社会にするためには、国や地方自治体の活動が不可欠であり、多くの人々が納得できる公共部門の諸制度のあり方が問われます。公平・公正で効率的な制度のあり方を理論的に検討するとともに、実現可能な政策案を考究します。

- # 公共政策
- # 分析力
- # 計画力
- # プレゼンテーション力

### Topics 2021

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響下で厳しいゼミ活動を強いられてきましたが、ウィズコロナ・アフターコロナの時代を見据えた新たなゼミナール活動を始動していきます。



## 交通工学・交通計画

現象を正しく理解し、計画に生かすことが重要です。交通の現象や性質、人間の行動特性を正しく理解するのが交通工学です。交通工学の知見を生かして効率的な都市交通政策を策定するのが交通計画です。国土計画・地域計画と交通システムを同時に考える学問が「交通工学・交通計画」です。都市や地域の『慢性病』の医者です。ゼミでは交通現象の理解、課題の抽出、都市問対の解決法という手順で卒論等が進みます。

- # 交通工学
- # 交通計画
- # 都市問題のお医者さん
- # 自ら考える力

### Topics 2021

卒論に取りかかる前に、既に知っている、または、知らないといけぬ知識なのか、整理しましょう。



## 建築教育・都市環境教育

建築・都市・まちの教育をテーマに、リアルとバーチャル、ローカルとグローバル、専門家と市民・子ども等、さまざまな領域を横断し、新しい学びをひらく実験室です。どんなに小さな場や短いサイクルでも、自分で考え、試し、実行するプロジェクト・デザイン/プロジェクト・マネジメントの力を養います。建築・都市・まちの理解をベースとしながら、教育的視点を持った人材として社会や大学院で活躍することを期待します。

- # まちで学びをつくる
- # 市民・子どもとの協働
- # プロジェクトデザイン
- # ワークショップデザイン

### Topics 2021

ドーム前キャンパスで身近な問題解決を実行するMini Innovation Labのほか、岐阜市柳ヶ瀬商店街、名古屋市堀田商店街、郡上市八幡・石徹白地区など、地域と連携したプロジェクトも立ち上がってきました。



## 地方自治・まちづくり

地方自治の仕組み・構造等を、理論と具体例の双方から探ります。具体的には福祉やまちづくり系のNPO団体を自ら探し、一日体験をしてレポート報告をします。地方自治の仕組みとまちづくりの関係をj知ることj「市民主体のまちづくり」をどうやって実現するのかを学びます。これまでのOBやOGは、県警察や市町村職員、消防署や農協、NPO団体や民間企業などに就職し、その力を発揮しています。

- # Administrator (地域の行政)
- # Business (民間企業)
- # Coordinator (外部の有識者)
- # DemcraticOrgaizations (地域の団体)

### Topics 2021

2021年もコロナ禍でゼミも大きな影響を受けました。それでも2020年前期のゼミがWeb Classだったことに比べれば、2021年は前・後期とも対面で行うことができました。半歩前進というところでしょうか。



## 都市水利用計画

都市水利用は、多くの挑戦に直面している。たとえば、多くの都市で、水道水にトリハロメタンという発がん性物質が検出され、飲用水の安全性が懸念されている。水利用計画ゼミでは、安全な水を安定的に利用できる都市水環境の構築を目指し、数理解析、人工知能等の情報処理技術を駆使して、飲み水の安全性、平常時・非常時の用水確保、水災害に強いまちづくりを追求します。

- # 水質と飲用水の安全性
- # 気象変動と水害の多発
- # 水害軽減対策
- # 水環境の評価と整備

### Topics 2021

東京五輪の鉄人レース選手が水泳後に倒れこんで嘔吐する様子が世界中に放映された。酷暑に加えて東京湾の水質汚染が原因の一つとされる。東京湾の環境基準指定に関わった者としては大変悔しい。



## プロジェクト評価

環境問題をはじめとする任意の都市問題を取り上げ、問題の発見、情報の収集・分析、解決策の提案・評価、成果の発表・報告という一連の作業を遂行するための分析能力とプレゼンテーション能力の習得を目指します。環境政策（カーボン・ニュートラル事業等）、観光政策（オーバー・ツーリズム対策等）、社会資本整備（リニア中央新幹線整備等）などについて、フィールドワークや討論を行います。

- # プロジェクト評価
- # 公共事業の費用便益分析
- # 環境政策・観光政策の経済評価
- # 企画立案力

### Topics 2021

本年度もオンラインと対面を併用してゼミ活動に取り組みましたが、特に就活中のゼミ生にはオンライン・ゼミが好評でした。コロナ後も続けようと思います。日帰りのゼミ調査旅行も実施しました。



## 身体環境共生学

フィールドを通して、地域生態学や環境社会学を学びます。環境文化を活かしたまちづくりは、将来、持続可能な社会の形成に繋がっていきます。「教師に頼らない」「Webの情報は疑う」「自分たちで考え行動する」が、小池ゼミのモットー。基本は「Sense of Wonder」の心を持ち続けることです。「頭」で理解する前に、「身体」で環境を感じる事が大切です。

- # 里山保全
- # 環境教育
- # 郊外再生
- # 市民農業

### Topics 2021

農業への理解は自然の観察など科学性に支えられるものです。そして、地域での農業参加により深められます。市民のための農業とは何かを、私たちは改めて考え始めました。



## 21世紀の都市像の理解と計画論

現在から2050年ごろまでの社会の潮流を読み解き、都市・地域社会はどのような変貌を遂げようとしているか、求められる都市像やあるべき計画論を発想し、それを実現する方策を考究します。①少子高齢化・人口減少 ②情報化社会 ③グローバル化 ④環境意識の高まり ⑤地方分権化・市民社会という5つに着目。メガトレンドの理解のもとで、「あるべきもの」「求められるもの」を発想する力を養います。

- # 都市・地域計画
- # 都市再生
- # 地域活性化とまちづくり
- # 持続可能な都市づくり

### Topics 2021

南信州フィールドスタディに参加し、飯田のまちづくりとソーシャル・キャピタルの関係について学びました。大曾根路上空間活用ワークショップでは、魅力ある歩道空間利用を提案しています。



## Think Globally, Act Locally

上の言葉はあまりにも有名なフレーズですが、実はどなたが最初に言ったのか分かりません。しかし、『地球温暖化問題』を筆頭とするグローバルな環境問題を背景として、地域・都市における交通や防災、インフラ整備のありかた、観光やICTなど経済活性化の立案、エネルギーの安定供給と地方の自然環境保全の両立など、近年の森杉ゼミナールの研究方向性を定める上で、重要な道標となっています。

- # 環境経済学
- # 確率統計と計量経済学
- # 公共経済学
- # 交通経済学

### Topics 2021

森杉ゼミでは、コロナ禍における公共交通の低迷に対して深い関心を寄せており、伊勢蒲郡線などの赤字路線存続問題や、リニア中央新幹線開通時の観光に対する影響などが卒論テーマとして選ばれました。



## 医療安全をICTで社会貢献するゼミ

医療や介護で発生する様々な問題をアンケート調査やインターネット検索により情報収集し、データ分析を通して問題解決のための改善提言を考えるゼミです。医療や介護保健の知識習得と社会人基礎力を養成するため、厚生労働白書をベースにプレゼンやディベートなどのアクティブ・ラーニングを通して、卒業研究テーマの課題を検討し、医療関連学会発表を通して、エリート社員として十分通用する問題解決能力を育成します。

- # MS-Officeを自在に使いこなす
- # 学会検定試験のダブル合格
- # アクティブ・ラーニングの導入
- # 患者安全の問題解決を提案する

### Topics 2021

2021年8月に日本医療情報学会が主催した「医療情報技師」能力検定試験に、酒井ゼミの3名の学生が合格しました。この学会認定で、就職活動が優位になることは間違いありません。



## 人間行動データの収集・分析・評価

音や画像を対象に、人間の行動にともなって発生する情報や信号の解析・処理技術について学びます。ゼミで扱うテーマは、数学、デジタル信号処理、物理、電気工学、生理学、聴覚、心理、Web技術など多分野と関わっており、幅広く学ぶことができます。社会を支える情報基盤技術を学び、問題解決のための論理的思考力を獲得することで、問題設定や解決策の提案、実行ができる人材へとつながります。

- # データの収集・分析
- # データの評価
- # プログラム制作
- # 情報技術の活用

### Topics 2021

2020年度の卒業論文と修士論文の内容が学術誌に掲載されました。YouTubeチャンネルでは、3年生の輪ゴム楽器制作の成果も視聴できます。「名城大 西野ゼミ」で検索。



## Web Programming

Amazonや楽天のようなネットモールの仕組みを学び、オリジナルWebシステムを開発するゼミです。Javaプログラミングによるネットショッピングなどの業務系Webシステムや、e-Learningなどの教育系Webシステムの開発技法、Windowsアプリケーション開発技法を習得します。プログラミング能力とシステム構築力を身につけることで、コンピュータエンジニアなどの進路につながります。

- # Javaプログラミング
- # Webアプリケーション開発
- # Windowsアプリケーション開発
- # コンピュータ設定スキル

### Topics 2021

21期4年はWeb・Windowsアプリケーションの開発技法の練り上げとオリジナルシステム開発に邁進しました。22期3年は初見のメンバーが楽しく学べる資料作りと、専門書の論理構造と公理的な理解に留意しながら、全員で「北アルプス登山」遭難することなく登りきることができました。



## 景観・環境デザイン

都市計画の分野のひとつ「景観・環境デザイン」について研究しています。景観とは、環境に対する視覚からの評価です。私たちの生活はすべて環境のもとに営まれており、視覚は環境の影響を大きく受けます。だからこそ、環境を美しく豊かにすることは非常に大切なのです。体を育む栄養素が食物として口から摂取されると同じく、「心を育む栄養素」は景観として目から摂取されるのです。

- # 景観分析・景観計画
- # 環境デザイン
- # 環境色彩
- # 都市計画

### Topics 2021

今年度は「コロナ禍2年目」のゼミ運営となり、運営方針や学習内容の工夫など、ずいぶん混乱した昨年度（前期は遠隔実施、後期は対面実施）に比べ、教員も学生もそれなりに慣れてきて、ほぼ平常どおりになりました。



## 応用数学

世の中のいろいろな問題を、数学と情報技術を利用して解決するための理論と方法について研究しています。研究テーマを決めるのはゼミ生。興味・関心のあることを選びます。問題を解くための情報もなく、答えが見いだせないケースであっても探究していきます。数学的手法を学び、身近な疑問やシステムに対して数学的アプローチを行うことで、この理論と方法が、将来問題解決をする際に役立つはずですよ。

- # 応用数学
- # 応用物理
- # 調和解析
- # 情報工学

### Topics 2021

ゼミでは、プログラミングをすることでデータの本質的な意味を見つけたり、数学を学習することで様々な事象を解析できるようになります。



## 知能情報処理

身の回りの諸問題を定義し、数理モデルという抽象的な構造物として再定義し、これらを分析する力を身につけます。同時に、モデルと現実との違いを認識し、理論や技術と社会との関係について考える力を養います。数理モデルや技術系の文章の書き方はもちろん、C言語その他のプログラミングについても学びます。抽象的な表現や論理を学ぶことで、今までの自分とは異なる視野を獲得できます。

- # 数理モデル化
- # プログラミング
- # 情報可視化
- # 人工知能

### Topics 2021

今年度は、主に対面でゼミを実施してきました。まだマスクは必須なため顔を直接確認する機会が少なかったですが、ゼミでは毎回、学生の元気を確認できて安心しています。



## 数理計画学 Operations Research

都市の様々な問題・テーマを、数理とモデルという視点、数理計画学、ORなどの手法を用いて考察し、卒業研究の完成を目指します。ゼミ活動や卒業研究を通して、都市や社会に関して自らの問題意識をもとに情報の収集・調査・分析・評価を行うことを身に付け、論理的に考察して問題を解決するための姿勢・能力を培います。

- # 数理計画学
- # 意思決定理論
- # 統計学
- # 数理モデル

### Topics 2021

テキスト輪講にて3年生は統計学を学び、4年生は多変量解析手法を学びました。さらに4年生は各自の卒業研究発表を行ってきました。ゼミ生の社会での活躍を願っています。



## 合格報告



### 難関の「医療情報技師」能力検定試験に 酒井ゼミ生の3名が合格しました！

一般社団法人日本医療情報学会主催の第19回医療情報技師能力検定試験が2021年8月22日に開催され、全国13会場で計3,489名が受験しました。受験者の多くは、医療関係者やIT企業の医療系SEなど社会人で、その中に混じって、酒井ゼミ学生も受験しました。受験科目は「情報処理技術」、「医療情報システム」、「医学・医療」の3科目で総合判定の結果、新たに1,357名(合格率38.9%)の方が「医療情報技師」として認定されました。酒井ゼミ学生にとってはゼミで学んだ医療情報の知識理解度を客観的に評価する場でもあり、3名が合格となりました(写真左から、伊藤 翼君、鷲野 光希君、田邊 智之君)。都市情報学部で対外的に受験しているITパスポートや基本情報技術者試験より難易度の高い学会認定試験であり、医療系IT企業の就職活動が優位となることは間違いのないと思われます。

## 音・音声の分析・評価

身の回りにある音や人の声である音声を対象として研究しています。身の回りの音に関して自分の興味のあることをテーマとし、課題に自主的に取り組むことを目的としています。研究には、音響学の知識やMATLABのスキルが必要になります。これらは、これまで習ったことがない分野の事なので、自主的に知識やスキルを習得する姿勢が重要です。そこで、研究を通しこのような姿勢を身につけることを目指します。

- # 音・音声の分析
- # 音響学
- # MATLAB
- # 自主的に取り組む姿勢

### Topics 2021

研究を行う上で必要な音響学の知識を習得しました。また、MATLABの基礎を学びました。さらに、応用では正弦波を生成し、それを使ってジャンルを問わず好きな楽曲を作曲するプログラムを書きました。



## 優秀卒業論文 (令和3年度)

ゼミナール	名前	題目
雑賀 憲彦	岩崎 瑞生	地方創生と就職に関する研究
島田 康人	古川 綾夏	音楽業界におけるコロナ禍による経営危機についての分析
杉浦 真一郎	伊藤 駿	三重県における釣場の特性と遊漁振興への課題
鈴木 淳生	高澤 伶那	花に関する統計調査と傾向分析
稲葉 千晴	杉山 大輝	戦前ドイツから今後の展望
手嶋 正章	永井 大貴	リニアが直面している問題について
昇 秀樹	倉井 晴樹	地方の路面電車のBRT化に関する研究
張 昇平	山口 峻也	発展途上国における水不足の影響と対策
若林 拓	山本 侃宗	テキストマイニングを用いた地方公共団体のWebサイト構造の分析～名古屋市を例として～
田口 純子	松川 芽夢	色彩景観における地域色を活かした地域住民間の共通意識形成～郡上八幡の色彩景観調査に基づいた色見本帳づくり～
大野 栄治	伊藤 一真	名古屋城木造復元事業の社会的便益の計測
福島 茂	上野 颯太	中間事業者による重伝地区歴史的建物の保全継承と活用～美濃市「うだつの上がる町並み」におけるNOTEアプローチの検証～
森杉 雅史	瀧川 倅貴	外来種の食用利用の可能性についての研究
亀井 栄治	山本 芹菜	都市景観における植栽が与える印象について
酒井 順哉	武内 梨瑚	新型コロナウイルス感染拡大前後のオンライン診療の普及状況研究
西野 隆典	土川 弓佳	騒音の不快感の緩和における噴水音の効果に関する研究
杉浦 伸	豊田 千春	鈴鹿山脈における登山者の動向とその要因についての研究
鈴木 千文	山田 航輔	野球競技における打球軌道の違いによる打球音の調査

## 2021年度 専任教員の専門分野と主な研究テーマ

	教授名	専門分野	研究テーマ
経済・経営	雑賀 憲彦 教授	経営戦略・人事戦略・マーケティング戦略	企業や自治体の経営課題の抽出と経営戦略の立案 企業や自治体の人事賃金制度の分析、評価の賃金システムの改善策立案 企業や自治体のマーケティング課題の抽出とマーケティング戦略の立案
	島田 康人 教授	管理会計・経営分析	顧客別収益性分析の進展、情報化と企業間関係の変化
	杉浦 真一郎 教授	人文地理学	地方行財政に関する地理学的研究
	鈴木 淳生 教授	数理ファイナンス・金融工学・オペレーションズ・リサーチ	デリバティブの価格付け、都市のOR
	宮本 由紀 教授	地方財政・都市経済学	子育て支援政策に関する実証分析
財政・行政	赤木 博文 教授	財政学・公共経済学	社会資本形成に関する理論的および実証分析、税制のあり方
	稲葉 千晴 教授	国際関係論・国際政治史	国際政治史、日露関係史、北欧現代政治、情報と国際通信
	鎌田 繁則 教授	社会保障論	生活者のための社会保障
	手嶋 正章 教授	公共政策学・経済政策学	地域情報化政策に関する研究、地域政策とまちづくり、財政問題と政策論
	昇 秀樹 教授	行政学・行政法・政治学・地方自治論等	地方分権の課題と展望、まちづくりの手法、自治体の政策形成、地方自治法解説、地方公務員法逐条解説
地域計画	柄谷 友香 教授	都市防災計画・リスクコミュニケーション	防災・減災社会の実現に向けたひと・まちづくり、広域巨大災害からの被災地の復旧・復興プロセスの解明
	張 昇平 教授	都市水文学・水利用計画	水資源開発計画と水資源管理、都市水環境システムの解析および制御、湯水と水供給の安定化
	若林 拓 教授	交通工学・交通計画	交通システムの信頼性向上に関する研究、災害時の交通計画、道路案内標識の経路誘導効果の評価
	田口 純子 助教	建築教育・都市環境教育	建築・都市・まちに関する創造的学習、生涯学習(子ども教育、市民教育)プロジェクトデザイン、ワークショップデザイン
開発・環境	大野 栄治 教授	土木計画学・プロジェクト評価	公共事業の費用便益分析、環境政策・観光政策の経済評価
	小池 聡 教授	農村計画学	農村地域政策の分析と評価
	福島 茂 教授	都市計画・地域計画・住宅政策	社会経済環境の変容に対する都市計画・居住政策のあり方、グローバル経済における地域開発戦略、産業立地をめぐる国際地域間競争、持続可能な地域づくり：Learning Regionアプローチとコミュニティエンパワメント
	森杉 雅史 教授	環境経済分析・土木計画学	地球温暖化の被害や適応策の経済学的評価 再エネ・交通・観光・文化と地域経済
情報・数理	宇野 隆 教授	数学・確率論・情報科教育法	確率多項式に関する研究、従属確率変数の極限定理に関する研究
	亀井 栄治 教授	景観計画・環境デザイン・都市計画	景観計画・環境デザインにおける分析・評価手法に関する研究
	酒井 順哉 教授	医療情報学・手術医学・医療機器安全工学	医療機器本体バーコード・2次元シンボル標準化の推進研究、患者に役立つ医療事故再発防止のための安全方策の研究、在宅医療・介護のためのIT技術導入に関する研究
	西野 隆典 教授	立体音響・音信号処理	三次元音響の収録と再生に関する研究、音声・音響信号を用いた人間と機械とのインタフェースに関する研究
	山谷 克 教授	応用数学・数値計算	画像や音楽に含まれる幾何学的特長を用いた効率の良い情報削減方法の考案
	水野 隆文 教授	知能情報システム工学	スマートコントラクトを含むビジネスモデルの設計、フロントエンド向けルールベースシステムの開発、AIシステムの経済価値の評価、大規模データベースシステムの構築、複雑系ゲームマシンの解析、感性データの可視化
	杉浦 伸 准教授	オペレーションズ・リサーチ 応用数理	数理的意思決定に関する理論的研究 オペレーション・リサーチ、応用数理による都市問題の分析
	鈴木 千文 助教	音・音声信号処理	歌声の類似度評価に関する研究

張昇平	著書	Jie Qi, Jiyoung Seo-Cense, S.P.Zhang(edited by Weili Zhao, Thomas S. Popkewitz, and Tero Autio)/EPISTEMIC COLONIALISM AND THE TRANSFER OF CURRICULUM KNOWLEDGE ACROSS BORDERS/ Studies in Curriculum Theory Series/Routledge, NY/2022/ISBN9780367339487(hbk) ISBN9781032198576(pbk) ISBN9780429323027(ebk)
	論文	ZHANG, S.P. and QI, Jie/ A STUDY ON APPLICATION OF DEEP LEARNING TO WATERENVIRONMENT PLANNING/Proc. of 11th Int. Conf. on Geotechnique, Construction Materials & Environment, Kyoto, Japan/ 3-5 Nov.2021/ISBN: 978-4-909106063 C3051/pp.522-527/査読有
	論文	QI, Jie and S.P. ZHANG/ THE CREATION OF THE CHINESE INTELLECTUAL: APPRAISING THE ROLE OF THE STATE AND SOCIAL MOVEMENTS/ Proc. of Annual Meeting of the American Educational Research Association(Virtual Meeting)/April, 2021/査読有
大野 栄治	論文	大野栄治・森龍太・杉浦伸・森杉雅史/再生可能エネルギーを活用した高齢者福祉タクシー事業の提案と評価/都市情報学研究/都市情報学部/No.26/2021.7/pp.3-11/査読有
	論文	Eiji OHNO, Ryuta MORI, Shin SUGIURA and Masafumi MORISUGI/Proposal and Evaluation of the Elderly Welfare Taxi Business Utilizing Renewable Energy/Proceedings of the 60th European Congress of the Regional Science Association International/The European Regional Science Association (ERSA)/Vol.60/2021.8/pp.1-20/査読無
	論文	供田豪・徳力遼・森杉雅史・大野栄治/気候変動と砂浜損失による新潟県・石川県の海岸別経済的被害の推計/土木学会論文集G(環境)/土木学会論文集G(環境)/Vol.77, No.5/2021.12/pp.l_231-l_241/査読有
福島 茂	論文	福島 茂/「ポストコロナ時代の東京一極集中構造の変動と地方圏の活性化」/『計画行政』第44巻第1号/ 21-26./2021.2.15(招待論文)
	論文	福島 茂 /「ポスト・コロナに求められる都市性と名古屋のまちづくり」/『アーバン・アドバンス』/No.76/37-43/2021.9/名古屋都市センター(招待論文)
	論文	Montouch Magluntong and Shigeru Fukushima/Controlling Street Vending in a Rapidly Modernizing City/Consequences and Implications of the Policy of Returning Walkways to the Public in Bangkok/Thailand/Urban and Regional Planning Review/Vol.8/2021/165-185/City Planning Institute of Japan (査読有)
森杉 雅史	論文	供田豪・徳力遼・森杉雅史・大野栄治/気候変動と砂浜損失による新潟県・石川県の海岸別経済的被害の推計/土木学会論文集G(環境)/土木学会論文集G(環境)/Vol.77, No.5/2021.12/pp.l_231-l_241/ 査読有
	論文	田中佑樹・供田豪・森杉雅史・大野栄治/エネルギーシステム分析用産業連関表を用いた固定価格買取制度の影響分析/土木計画学研究・講演集/土木学会/Vol.64/2021.12/CD-ROM 9ページ/査読無
	論文	森杉雅史/国土強靱化計画を振り返る -水害被害の実績と治水関連型社会資本のマクロ整備効果分析から/都市問題/後藤・安田記念東京都市研究所/Vol.112/2021.8/pp.48-59/査読無
酒井 順哉	著書	酒井順哉(共著)/医療機器安全実践必須ガイド(第3版)[医療情報編]/第I章「コンピュータの基礎」pp.15-56/第II章「情報セキュリティの基礎」pp.59-68/第III章「医療情報の特殊性と医療情報システム」pp.71-122/第IV章「診療録とその他の医療記録」pp.126-129&pp.134-139./第V章「病院情報システム」pp.143-171/第VI章「医療情報の標準化」pp.186-196&pp.211-215/エム・イー振興協会/ISBN:978-4-901276-55-9 C3047/2021年9月15日発行
	著書	酒井順哉(分担執筆)/臨床工学講座「医用情報処理工学」(第2版)/第1章:医療と情報技術(IT)pp.1-13/第8章:データベースpp.121-144/第9:データ通信とネットワークpp.145-174/第12:コンピュータによる医療機器への応用pp.189-199/医歯薬出版/ISBN:978-4-263-73423-0 C3347/2022年1月10日発行
	論文	安田大冴・酒井順哉/病院における医療材料の発注と物流に関するバーコード利活用のアンケート調査分析の研究<査読付き論文>/都市情報学研究/No.26/pp.13-26/2021.
西野 隆典	論文	野々山大樹, 鈴木千文, 西野隆典/声質変換手法を用いた自己聴取音声の生成と評価/電気学会論文誌C/電気学会/vol.141, no.12/2021/1267-1268/査読有
	論文	Sho Hibino, Chifumi Suzuki, and Takanori Nishino/Classification of singing insect sounds with convolutional neural network/Acoustical Science and Technology/日本音響学会/ vol.42, no.6/2021/354-356/査読有
	論文	西脇正悟, 西野隆典/発話に伴う筋電位分析にもとづく身体疲労が歌唱におよぼす影響の評価/日本音響学会2022年春季研究発表会講演論文集/日本音響学会/ 2022/査読無
水野 隆文	著書	Takafumi Mizuno (章分担執筆)/ A Macroeconomic Aspect of IoT Services: Their Marginal Costs / Internet of Things (Fausto Pedro García Márquez, Benjamin Lev 編) / Springer International Publishing / 2021 /pp.85-92 / ISBN 978-3-030-70477-3
	論文	T. Mizuno / A Link Diagram Visualizing Relations between Two Ordered Sets / arXiv:2102.03010 [cs.GT] / 2021 /https://arxiv.org/abs/2102.03010 / 査読無
杉浦 伸	論文	大野 栄治, 森龍太, 杉浦伸, 森杉 雅史/再生可能エネルギーを活用した高齢者福祉タクシー事業の提案と評価/都市情報学研究 = Urban science studies (26) 3-11 2021年
鈴木 千文	論文	鈴木千文, 坂野秀樹, 旭 健作, 森勢将雅/"歌唱音声における自然性評価のためのスペクトルの微細変動減衰処理によるビブラート音声の作成"/日本音響学会 / 2021 / pp.1147-1148 / 査読無
	論文	鈴木千文, 坂野秀樹, 旭 健作, 森勢将雅/"歌唱音声におけるスペクトルの微細変動減衰処理によるビブラートの自然性への影響の調査"/日本音響学会 /2022 /査読無
	論文	野々山大樹, 鈴木千文, 西野隆典/"声質変換手法を用いた自己聴取音声の生成と評価"/電気学会 /2021/ pp.1267-1268 /査読有

# CBML 2021

Community  
Based  
Machizukuri  
Learning

CBMLとは地域と協働し、課題の発見・提案・解決を実践的に学ぶ学生主体の教育プログラムです。3年目となる今年度も、美濃加茂市からいただいた『理想の駅まちづくり』をテーマに、1年生28名が6つのグループに別れ、美濃加茂市での最終発表を目指し、課題解決に取り組みました。特にオンライン開催した「若手サミット」によるデザイン思考を活用したワークショップでは、「ユーザー」「課題」「解決アイデア」「NEXTアクション」を整理し発表の糸口を見出しました。与えられたプログラムをこなすだけでなく、積極的に市職員に聞き取りを行ったり、アンケートを実施したり、発表に工夫を凝らしたりと、正に学生主体のプログラムに発展しています。

詳細は名城大学  
HPをご覧ください!  
<https://www.meijo-u.ac.jp>



## あなたが考える美濃加茂市

## 理想の駅まちづくり

### A ターゲット | 観光客

#### 美濃加茂市 観光客2倍大作戦!

観光客2倍を目指して、市外の人に魅力を伝えるため、インフルエンサーに取り上げられる仕組みを提案。アンケートから得た「土地の美味しい食べ物や料理」「目を引くもの」「綺麗な自然」「友達との写真」を満たす既存スポットに駅周辺から行きやすいように、パンフレットで情報発信をしたり、他班とコラボして新たなインスタ映えスポットも増やしていきたい。

### D ターゲット | 事業者

#### 事業を始めやすい 環境づくり

出店しやすい環境にし、新しい人や事業を呼び込むことをテーマに、起業したい若者をターゲットとする「テナントを募集をしている地域をめぐる現地ツアー」「起業成功者や市担当者との相談会兼懇親会」「起業体験」を提案。商業施設の多い「便利な北」に対し、駅南エリアをチャレンジ精神を持つ人やおもしろいことに興味を持つ人が集まる「自由な南」と特徴づけたい。

### B ターゲット | 若者

#### 美濃太田駅×マルシェ ユーザーは19歳の若者

駅周辺に集う若者を今の2倍にする!を目標に、市内在住の大学生へのインタビュー結果を踏まえ、若者が駅前で楽しんだり、アルバイトをしたり、定期的に立ち寄ることができるマルシェの開催を提案。学生が出店者としても、利用者としても参加しやすい金曜日の16時~21時に、駅南の芝生広場で数店舗から開始し、将来的には駅前通り扱いへと規模を拡大できると良い。

### E ターゲット | 子どもが15歳以下の家族

#### 親子で一日中 遊べる駅周辺

親子で一日中楽しむことができ、家族連れでにぎわうウォーカーブルなまちにすべく、駅南を会場としたワンデイプログラム「謎解きをしながら商店街を歩こう!」を提案。商店街とまち中の複数個所に仕掛けられた謎解きをしながら、特産品の買い物をしたり、地元で獲れた食材を使った料理体験をしたり、カフェと公園の複合施設でつづろぐというモデルコースも提案。

### C ターゲット | 挑戦したい事業者

#### 美濃加茂市を 起業しやすいまちに

「起業といえば美濃加茂市、美濃加茂を起業しやすいまちNo.1に」を理想のゴールとして、若い起業志望家の悩みである「金銭面」「知識不足」「思い切りの難しさ、不安感」を多彩な勉強会や体験イベントで払拭したいと提案。勉強をする、人脈を広げる、イベントに参加する、支援を受けるといったステップを行政と民間で支え、起業で市を変えていきたい。

### F ターゲット | 子ども(0~12歳)と親

#### 親子で幸せのまち 美濃加茂市

親子で安心してすくすく成長できる美濃加茂市を目指し、駅南に子育て中の親が安心して友人と交流し、ストレスを緩和できる「ドリーム公園」を提案。子育て経験者66人を対象とした調査結果から得た、「快適で安全な休憩所」「男性も積極的に子育て参加できる機会」「適正な防犯カメラ設置」を整えることで、心・時間・生活にゆとりをもたらす、駅周辺や地域の活性化につなげたい。



お客様一人ひとりの  
生活を支える尊い仕事。



## 路線ごとに異なる車掌業務

私は、JR東海で車掌業務をしています。担当しているのは、東海道本線（豊橋～大垣）、高山本線（岐阜～高山）、太多線（多治見～美濃太田）の3線区です。発車・到着時の安全確認や車内巡回によるお客様対応、異常時の対応など、お客様に最高のサービスを提供したいと思い日々業務にあたっています。列車は早朝から深夜まで運行しているので、私たちは泊まり勤務が基本で、出勤・退勤時間は日々異なり、乗務内容によって分刻みで変わります。はじめて一人で車掌業務につき、私の合図で列車が動き出したときは、とても感動しました。

日々の車掌業務では、線区ごとの特性に合わせた対応を心がけています。都市線区（東海道本線）は毎日多くのお客様が乗車されますのでドアの扱いやホームの安全確認に細心の注意を払い、鉄道の安全を守ることを常に強く意識しています。地方線区（高山本線、太多線）は、無人駅から乗車されるお客様も多いので、必要に応じて乗り換えや発車ホームの番線などを個別にご案内するなど、お客様一人ひとりに合わせた質の高いサービスを提供できるよう、心がけています。

## 今の基礎をつくった大学時代

都市情報学部を選んだのは、文理融合でいろいろな分野を学べるからです。高校生の頃はまだ進路が定まっていなかったのですが、学部でのさまざまな学びがあったおかげで、将来を考えることができました。ゼミでは、教授から「なんでもメモを取れ」と言われたことが今とても生きています。メモをすることで理解のスピードが上がり、同じことを何度も質問せず確認することができます。上司からの信頼を得るためにも、自分自身の成長のためにも、メモは本当に大切だと改めて感じています。

## 安全に目的地に送り届ける使命

学生時代に通学でJRを利用していたときは、列車が定刻通り走り、安全に到着することは当たり前だと思っていましたが、その当たり前はたくさんの人によって守られていたことがわかりました。この仕事は、すべてにおいて「安全を最優先」に行動することが大切です。「これくらい大丈夫だろう」といった安易な憶測や思い込みを捨て、常に



▲ 出勤の都度時間を合わせます

▲ 車掌のシミュレーション訓練

安全を意識し、不測の事態を想定しながら自分の目でしっかり確認し、自分で考えることを心がけています。

お客様は、通勤・通学や旅行など、さまざまな目的で鉄道を利用されます。すべてのお客様を無事に目的地まで送り届けることが私たちの任務。列車は、お客様の移動のスタートであり、ゴールでもあります。気持ち良いスタートを切り、無事にゴールに辿り着けるかどうかは、車掌の対応次第とも言えます。お客様からの「いつもありがとう」というお声はとても励みになりますし、一日の業務を無事終わると、微力ながら社会に貢献し、目の前のお客様の生活を支えることができたという達成感とやりがいを強く感じます。多くの人の命を預かる仕事に責任と緊張感を持って乗務をするようにしています。



▲ 時刻を確認して発車の準備

## たくさんの人の日常を支えたい

JR東海は、東京～名古屋～大阪間の日本の大動脈輸送を支え、たくさんの人や想いを繋いでいる、なくてはならない会社だと思います。列車が止まると、日本の経済にも大きな影響を与えてしまいます。我々の業務が、日本の発展につながると思うと気が引き締まりますし、とてもやりがいを感じます。今は車掌業務ですが、今後は駅係員や運転士なども経験し、いずれは列車運行を管理する指令業務に携わることが目標です。指令は、列車の運行に乱れが生じた場合などに、列車の遅れを回復させるために、駅や乗務員に適切な指示を伝達する司令塔のような立場です。最前線の乗務員で貴重な経験を積みながら、着実に力をつけ、夢を叶えたいです。

### Q1 仕事での必需品は？

責任感と、使命感。お客様を安全に目的地まで送り届けることが私たちの使命です。

### Q2 いつも必ず持っているものは？

時計。常に1分単位で行動しています。朝は点呼場の時計と時間を合わせることから始まります。

### 学生時代に

### Q3 やってあげればよかったことは？

英語の勉強。外国のお客様が乗車されることも多いので、語学は強みになると思います。

### Q4 趣味は？

野球とゴルフと旅行です。休日は草野球をしたり、ゴルフをしたりして楽しんでいます。

### Q5 キャンパスでお気に入りの場所は？

学食。あんなにおしゃれでおいしい学食は、ほかの大学にもなかなかないと思う。

### 学食では Q6 何が好きだった？

日替わりランチ。ワンコインなのにとてもおいしくていろいろ食べられるので満足度が高い！



ONE DAY'S WORK



### 成瀬さんの とある1日

14:46

#### 出勤・特急ひだ乗務

美濃太田運輸区に出勤・点呼後、乗務準備。15:17発の特急ひだに乗務（美濃太田→名古屋）

18:42

#### JR東海道本線乗務

新快速（名古屋→豊橋）、快速（豊橋→岐阜）、普通（岐阜→名古屋）に乗務

23:48

#### 名古屋駅で勤務終了

0:30

#### 就寝

7:00

#### 特急ひだ乗務

朝食をとり出勤、点呼後、名古屋駅へ。名古屋→高山、高山→美濃太田間乗務

13:37

#### 勤務終了

13:14に美濃太田駅に到着。引き継ぎ後、美濃太田運輸区で点呼、勤務終了

# 学生たちがつくる キャンパス図書館

2021年、都市情報学部と附属図書館は、学生視点で所蔵図書を選ぶ「ブックハンティング」を行いました。今回は、この取り組み、個性あふれる選書内容に加え、附属図書館の魅力や賢い使い方についても合わせて紹介していきます。

## ナゴヤドーム前キャンパス図書館

場所 ナゴヤドーム前キャンパス 東館一階  
図書館内の主な施設 グループ学習室 / フリー閲覧ラウンジ / 閲覧席 / メディアブース ほか  
利用対象者 学部生 / 大学院生 / 教員・職員

## 学生視点で選ぶブックハンティング

ナゴヤドーム前キャンパスの東館には、広々とした図書館があります。ICTを活用した図書管理で、所蔵数は12万冊（2021年3月時点）。ドーム前キャンパスにある外国語・人間・都市情報の3学部の関連書籍が充実しているのが特徴で、都市情報学関連の書籍も多く揃っています。館内には読書スペースのほか、集中して勉強ができる学習コーナー、さらにDVDが再生できるメディアブースなど様々なコーナーがあるので、本を借りるだけでなく、読書をしたり映画を観たりと、ゆっくりと時間を過ごす学生も多いようです。

2021年夏、都市情報学部では学生による「ブックハンティング」を行いました。これは、今後図書館に所蔵する本を、学生の視点で選ぶ試みです。以前は学生が書店に向いて本を選ぶ選書ツアーを行っていましたが、今回



は新型コロナウイルス感染防止の観点から、参加学生がリストアップした本を図書館が購入し、学生はその本を読み込みPOPをつくって展示する、という内容で行いました。同年の12月には、POPを披露する発表会を開催。それぞれが選んだ本に想いを込めて、発表しました。

魅力を感じる本を探し出すことも大切ですが、それを「人に伝えることを念頭に置いて読む」「読んだ内容を魅力的に伝えるPOPをつくる」という経験をすることで、本に対する理解がより深まります。「本を読む“インプット”だけではなく、その本について“アウトプット”する機会をつくりたい」と話すのは、司書の貝沼邦彦さん。初めての試みでしたが、人を惹きつけるような個性的なPOPが出そろい、本棚を華やかに彩りました。

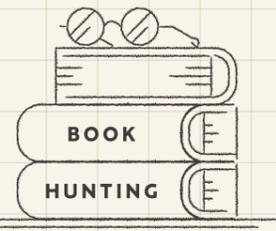


## 居心地の良い図書館をめざして

学生の勉学や研究を応援するサービスが充実している附属図書館。名城大学の学生であれば、所蔵してほしい図書を年間10冊までリクエストすることができます。さらに、電子書籍『Maruzen eBook Library』なら、学外からでも24時間登録書籍を閲覧することも可能。特に就職関連の最新書籍が充実しているので、就活に活用している学生も多いようです。

「学生にとって図書館は、勉強する場所、本を借りる場所というイメージが強いかもしれませんが、もっと自由に、自分の本棚のようにどんどん使い倒してほしい」と貝沼さん。学生一人ひとりの「こんな本を入れてほしい」「こんな図書館にしたい」という思いが重なることで、さらに充実した図書館へと進化していきます。今回のブックハンティングも、そのひとつ。「図書館が、学生たちにとって心落ち着く居場所のひとつになることが理想」と話す貝沼さんも、学生にとっての居心地の良い図書館づくりに、常に邁進しています。学生たちによる、学生たちのための図書館。ぜひ一度足を運んで、お気に入りの場所やお気に入りの本を見つけてみてくださいね。





# 私のおすすめ みんなに ぜひ読んで 欲しい本

胸が熱くなる&  
爽快感に包まれる!



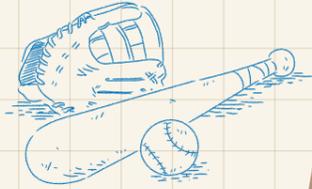
どんなPOPにしたら  
目を引くかを考えなが  
ら作りました。とても  
楽しかったです!



岡愛子さん

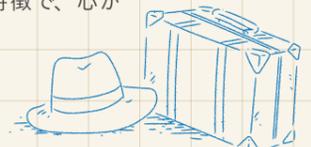
「ラブオールプレー」著：小瀬木麻美  
青春バドミントン小説。心が温くなるのはもちろん、  
爽快感あふれる展開です。著者の小瀬木麻美さんは、  
私の母の従姉妹なんです!

奇妙だけど温かい絵本で  
心の休息を



足立 依美奈さん

「エリック」「アライバル」「ロスト・シング」  
著：ショーン・タン  
オーストラリアの絵本作家、ショーン・タ  
ン氏の絵本から3選を。奇妙だけど温か  
さのある独特の世界観が特徴で、心が  
癒されますよ。



結果を出したい  
人におすすめ!



尾口 大介さん

「勝負の心得」著：立浪 和義  
中日ドラゴンズ監督・立浪和義氏に  
よる「心得」を4つのストーリーで  
構成。彼の考え方、動き方などは今  
後の人生に必ず役立ちます!

細胞の魅力に  
きっと気付く本



廣島 克則さん

「はたらく細胞」  
著：時海結以 原作：清水茜  
体内に病原菌やウイルスが侵入する  
と体内で細胞がどう動いているのか  
など、原理を知ること、自分の  
体について理解が深まります。

飾りたくなる  
素敵な表紙デザイン

POPを書くために深く  
読み込む必要があ  
り、いつもの読書とは  
少し違う体験でした。



西尾 菜さん

「盲目的な恋と友情」著：辻村 深月  
恋と友情に盲目的になる2人  
の女性の話。恋愛に限らず盲  
目的な瞬間は誰にでもあると  
いうことに気づかせてくれる、  
深いストーリーです。

今の僕たちに  
必要な言葉に出会う



中川 雅新さん



「シーソーモンスター」「クジラアタマの王様」  
著：伊坂幸太郎  
大学生である僕たちにも通じる様々な問題を、  
著者・伊坂幸太郎氏の目線、彼の独特の世界  
観で、楽しみながら読み進められる二冊です。

魅力的なPOPがたくさん!

みなさんが作ってくれたPOPが想像以上の仕上がりで、とてもびっくりしま  
した。誰にどんなことを伝えたいのかが明確で、人を惹きつけるPOPばかり。  
次回はぜひ、おすすめ本について書評を語り合う「ビブリオバトル」も  
やってみたいですね。

司書 貝沼 邦彦さん



# CAREER DECISION

自分の決断に自信を持ち、  
頼られる職員になりたい



都市情報学部 4年  
**山本 芹菜 さん** > 内定先  
**名古屋市役所**

子どもの頃の夢はCAでした。諦めかけていたタイミングで、名城にエアライン就職サポート [M-CAP] があると知り、思い切って参加。同じ志の学生と知り合うことができ、とても刺激的な環境でした。3年の春、COVID-19の流行でCAの採用がゼロに。悩んだ結果、公務員に方向転換しました。キャリアセンターに相談することも多かったですが、いつもの確かなアドバイスをくださり、前向きな言葉で不安な私の背中を押してもらえて、とても心強かったです。学部で学んだまちづくりなどの分野も活かしながら、笑顔と丁寧な声かけで、市民の方に安心してもらえる市職員を目指したいです。

## 気になるホントの就職活動体験談 先輩に聞いてみた!

JOB HUNTING STORY OF SENIOR

都市情報学部で学んだことが  
自分の強みになった

企業の評価を考える雑賀先生の講義で、評価が高い企業として挙がっていた「TIS株式会社」が印象に残っていて志望しました。コロナ禍の就職活動で、説明会やインターンはほとんどオンライン。企業の空気感が掴みづらいデメリットはあるものの、効率良く数多くの企業にアクションできる点は僕にとってメリットで、オンラインインターンはたくさん参加しました。

就活を進めていくと、都市情報学部で学んだことが自分の強みになることを実感しました。IT業界以外でも、この学部で情報系のスキルを学んだことがプラスに評価される場面がとても多かったです。



都市情報学部 4年  
**鷲津 英典 さん** > 内定先  
**TIS株式会社**

# CAREER DECISION



「やながせこどものがっこう」とはこどもたちが、岐阜市柳ヶ瀬商店街の探検を通じて、まちや空間、デザイン、環境を楽しく学ぶ体験・実践型のスクールです。柳ヶ瀬商店街で活動をしている株式会社ミュキデザイン、柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社と田口ゼミナールが共同して2021年にスタートしました。各回、まちに関するテーマを設け、学生主体でテーマを通じてこどもたちに伝えたいことは何かを考え、ミニレクチャーと商店街の探検を行いました。また、発見したことや感じたことを作品とおして表現しました。実際に商店街を歩いたり、お店の人と関わる中で、こどもたちだけでなく学生にとっても新しい「まちを見る視点」を考える良いプロジェクトとなりました。

プログラムの詳細や  
ふりかえりは  
こちらからご覧ください  
<https://www.facebook.com/yanagase.school/>

### 1 まちを採取しよう!



「まちのなかで見るものに対してたくさんの気になるものを見つけたい」ということを伝えるため、商店街の様々な色やかたちを「気になる」という直感を頼りに探しました。近くから見たり遠くから見たりと見方を変えると、普段は見えていなかった商店街の姿を発見できました。ワークでは、見つけた色を再現しお気に入りの形とコラージュした缶バッジを作りました!

### 2 まちの見えない姿



まちの匂いや音楽がきっかけで思い出が浮かぶことがあるように、「普段意識していない、まちの見えない姿も思い出の一部になる」ということを伝えるため耳を澄ませ、大きく鼻で息を吸って、手で触って、五感を使って探検を行いました。ワークでは探検で発見したものを色や形で表現し、「まちの見えない姿」を感じられるフォトフレームを作りました!

### 3 商店街で考えるお金と暮らし



「お金を払いたいと思わせる価値=モノだけではない」ということを伝えるため、新聞記者になりきって商店街へ取材に行きました。お店の方々に取材をする中で、商品以外にこだわりを持っていることや、お客様からしてもらって嬉しかったことなど、沢山の思い出を知る事ができました。ワークでは取材をもとに記事をつくり、お店の方々に届けました!

### 4 まちの古いものを見つけよう!



「地域の歴史や特色に興味を持って過ごしてほしい」ということを伝えるため、まちにある古いものを探しました。探検では、ただ古いというだけでなくなぜ古いと感じたのかを大事にもらいました。ワークでは、時間の変化を感じられる素材を使ってタイムカプセルを作り、探検で見つけたものが、10年後のどんな「古い」になっているか予想して中に入れました!

### プログラムをふりかえって



各回を担当する学生に大切にしてもらおうのは、その人が持つ「視点=まちのメガネ」です。自身の関心・経験や、学部での学びを通して、あるテーマを探求することは研究の第一歩。学生がこどもたちと接して探求するとともに、こどもたちのメガネも育ち始めることを期待しています。

田口 純子 助教

小さいときの体験が大人になってふと蘇ってくることがありますよね。まちが引き継がれるための重要な要素に「担い手」があり、幼少期にまちを意図的に体験してもらうこの学校はちいさなまちづくりだと思いました。また子どもたちが柳ヶ瀬に遊びに来てくれるとうれしいです。

株式会社ミュキデザイン  
柳ヶ瀬をたのしみまちにする株式会社 末永 三樹 さん



## 名城大学就職支援の特徴

### 1 1年次から4年次までの個別指導担当制

学生一人ひとりが抱える悩みや就職意識は千差万別です。名城大学の就職支援は1年次からスタート。4年間にわたって、担当制の個別指導で、進路や就職の相談ができます。

### 3 インターンシップ支援

大学に在学しながら企業等の就業体験ができ、就職活動前に勤労観、職業観、社会観を養うための支援です。短期のインターンや選考突破セミナーなどの支援も充実しています。

### 2 1・2年次対象の進路支援講座

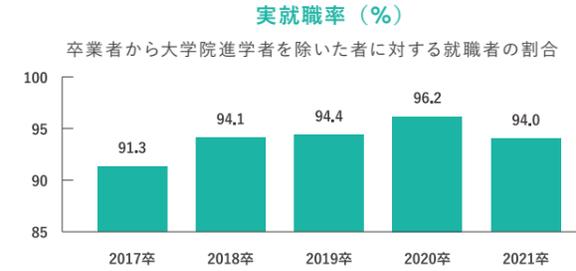
ガイダンスに加えて、企業内で働く場を紹介する「企業ではたらく博覧会」や「業界研究セミナー」を開催。早期のキャリア観醸成を目的に、社会や企業と触れる機会をつくります。

### 4 3・4年次対象の就職支援行事

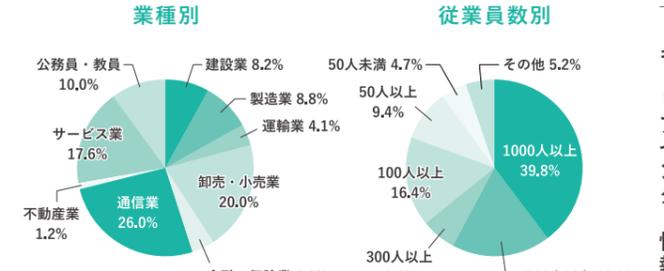
担当制による個人面談、就職ガイダンス、筆記試験・面接対策等の各種講座、アプリでの自走型キャリア支援「就活現地MAP」、 「学内業界研究セミナー」等を実施。必要な時期に合わせた支援を展開しています。

就職先が決定した4年生および本学卒業生が体験を通じて後輩にアドバイスなどの支援をする「就職アドバイザー制度」や、エアライン業界への就職をサポートする「エアライン就職サポート [M-CAP]」などを含め多彩な学生支援プログラムを実施し、就職活動のさらなる充実に向け支援を続けています。

## 名城大学都市情報学部 就職状況



文部科学省・厚生労働省の調査では、2021年3月卒業の大学生の就職率（就職希望者に対する就職者の割合）は96.0%で、本学都市情報学部の就職率は、その平均値を2.8上回り、98.8%でした。都市情報学部の実就職率（卒業生から大学院進学者数を除いた者に対する就職者の割合）は94.0%で、昨年に引き続き高水準を維持しています。就職以外の者は12人で、1人が大学院進学、3人が専門学校への進学や公務員、教員、国家資格を目指す者。それ以外の8人（昨年6人）はアルバイト等。



業種別 昨年と比較し、卸売・小売業が5.7増、公務員・教員が3.3増、通信業が2.1増になり、製造業が4.2減、サービス業が2.6減、運輸業が1.7減、金融・保険業が1.3減、電気・ガス業が0.9減、建設業が0.3減、不動産業が0.1減でした。

従業員数別 従業員の規模別では、500人以上の大企業への就職は合計で57.9%でした。昨年から2.1減となったものの6割近い学生が500人以上の大企業へ就職しています。

## 都市情報学部 主な就職先 30社（2021年4月入社）

愛知銀行	西濃運輸	トランスコスモス	国立大学法人東海国立大学機構
アルフレッサ	瀬戸信用金庫	名古屋鉄道	総務省 中部管区行政評価局
インテック	ディーエイチシー	日本アクセス	三重県庁
NTTデータMSE	デンソーテクノ	バッファロー	恵那市役所
岡崎信用金庫	東邦ガス情報システム	マキタ	関市役所
システナ	トーエネック	三菱電機メカトロニクスソフトウェア	愛知県警察本部
システムリサーチ	ドコモC S東海	リコージャパン	岐阜県警察本部
Sky	トヨタシステムズ	(五十音順で掲載)	

## 都市情報学部後援会

### 後援会定期総会

例年4月に開催している、定期総会は新型コロナウイルス感染防止のため、書面表決にて議決しました。

議案	議案	賛成	反対
第1号議案	令和2年度事業報告・会計報告	145	0
第2号議案	令和3年度役員選出	145	0
第3号議案	令和3年度事業計画・予算	144	1
採決を会長に委任		58	

書面評決数203通/会員数(送付数):812名(通) 書面表決書の提出無き場合は全議案に賛成されたものと判断させていただきました。

### 父母懇談会

例年8月に開催している父母懇談会は、新型コロナウイルス感染防止のため、講演会・全体会を中止し、以下の内容で行いました。

- ・メールによる質疑応答【対応期間：令和3年9月6日～10月31日】
- ・対面による相談会【開催日：令和3年10月16日】

### 令和3年度 都市情報学部後援会役員(敬称略)

役職	役員氏名
会長	伊藤 謙一
副会長	瀧 慎太郎
会計監査	横川 誠一
会計監査	小泉 有幸
役員	杉浦 桂次
役員	曾根 洋生
役員	長坂 嘉久
役員	金子 妃呂子
役員	佐藤 稔
役員	福添 裕文
役員	清水 雅士

## 全国の大学における2022年3月卒の就職動向

### 内定率は一昨年並みの水準に戻る（オンライン選考併用）

2022年3月卒（22卒）の内定率は、12/1時点で95.2%<sup>\*1</sup>となり、コロナ禍以前の2020年卒と同水準でした。コロナ禍により採用活動が停滞していた昨年に比べ、今年は各社が想定通りに採用活動を進めたことがわかります。選考方式は、オンライン面接が定着した一方で、対面方式の必要性も再認識されています。学生はどちらの方式へも対応が必要です。

### 就活スタート時期により、内定率の進み具合に差

就職活動の開始時期によって、内定率に大きな違いが生まれました。就活のスタートが3年生の10月より前か後かで比べると、内定率は「9月までに開始」で38.2%（昨年38.5%）とほぼ前年並みですが、「10月以降に開始」は13.6%（前年23.1%）と差が見られました<sup>\*2</sup>。効率よく活動を進めるためにも、早くからキャリアセンターを活用することを勧めています。

### 採用予定数は前年並みだが、採用基準は厳しくなる

採用数についての調査<sup>\*3</sup>では、全体の平均値は24.8人（前年24.7人）と、横ばいでした。しかし採用基準については「厳しくなる」16.1%に対して「緩くなる」は0.8%と、前年より厳しくなる見通しに。また、半数を超える54.6%の企業が「採用数に満たなくても求める人材レベルは下げない」と回答しており、厳しい採用基準を勝ち抜く努力が求められます。

\*1：就職みらい研究所「就職プロセス調査（2021年卒）-2021年12月1日時点 内定状況-」2021年12月14日  
\*2：就職みらい研究所「2022年卒 就職活動TOPIC」2021年5月7日  
\*3：就職みらい研究所「就職白書2021」2021年4月9日（21年卒採用実施かつ22年卒採用実施予定企業に質問）



キャリアセンターが主催する講座や行事、おすすめの企業など、見逃したくない就活情報などをアプリで入手できます。

「就活準備アドベンチャー」では、アプリで楽しく、便利に就活に取り組むことができます。



名城キャリア 検索



## 資格試験等受験料補助制度について

都市情報学部後援会（在学生父母等の会）は、より多くの都市情報学部生の皆さんが資格取得を目指して各種検定試験にチャレンジすることや、資格取得が自信となって就職活動・キャリアアップに繋げることを期待し、各種資格試験等受験料の全額または一部を補助することで支援いたします。

### 補助内容および支給方法

- (1) 各種資格試験等を受験した場合、申請に基づき、一人につき、同一年度内において2回まで受験料の全額または一部を補助いたします。
- (2) 受験料補助の対象となる資格試験等は、行政書士、宅地建物取引士、等、範囲がありますので学部事務までお問い合わせください。
- (3) 2回の補助額合計は、8,000円を超えないものとします。なお、2回目の申請は、上限までの残額が1,000円以上とします。
- (4) 補助金の支給は、補助申請月の翌月末日までに、学生本人または学資負担者名義の口座に振込で行います。

### 申請要件（資格）

- (1) 名城大学都市情報学部在籍（休学中でも申請可）し、かつ父母が都市情報学部後援会に入会していること。
- (2) 都市情報学部後援会が補助対象に指定した資格試験等（※）を受験し、実際に受験したことを証明する資料（写し可）が提示できること。ただし、可否等は問いません。

### 申請方法および申請期間

- (1) 補助希望者は、後援会指定の申請書類等を添えて期間内に申請してください。
- (2) 申請期間は、原則として、受験月から翌々月末日までといたします。ただし、3月中の申請分は、補助金支給が4月になりますので翌年度分の補助として取り扱います。そのため、4年次学生による申請は2月末日までとなりますが、この場合の補助金支給は、卒業日までに完了いたします。

### 申請書類

- (1) 資格試験受験料補助申請書
- (2) 銀行口座振込依頼書 ※通帳の写しを添付
- (3) 受験料領収書（原本のみ）または振込明細書（原本のみ）
- (4) 受験したことを証明する資料（写し可）※例えば可否通知など

## 『TOEIC-IP』試験受験料補助制度について

都市情報学部後援会（在学生父母等の会）は、名城大学都市情報学部の学生の皆さんが、実践的な英語能力に自ら磨きをかけて頂くきっかけとすることや、受験料に対する経済的支援を目的として、名城大学ナゴヤドーム前キャンパスで実施される『TOEIC-IP』試験の受験料を補助いたします。

### 補助内容および支給方法

- (1) 名城大学ナゴヤドーム前キャンパスにおいて、実施される『TOEIC-IP』試験の受験料補助として、申請に基づき、1年度につき1人1回のみ受験料を全額補助いたします。
- (2) 補助金の支給は、補助申請月の翌月末日までに、学生本人または学資負担者名義の口座に振込で行います。

### 申請要件（資格）

- (1) 名城大学都市情報学部在籍（休学中でも申請可）し、かつ父母が都市情報学部後援会に入会していること。
- (2) ドーム前Cで実施された『TOEIC-IP』試験を受験した者。

### 申請方法および申請期間

- (1) 補助希望者は、後援会指定の書類および受験を証明する書類等を添えて期間内に申請してください。 ※申請期間はお問い合わせください。

### 申請書類

- (1) 学内『TOEIC-IP』試験受験料補助申請書
- (2) 銀行口座振込依頼書 ※通帳の写しを添付
- (3) 受験料領収書（原本のみ）または振込明細書（原本のみ）
- (4) 『TOEIC-IP』試験スコアレポートの写し

## エクステンション講座受講料補助制度について

都市情報学部後援会（在学生父母等の会）は、名城大学都市情報学部が重点課題に掲げる「学部学生の人材高度化支援」に呼応し、本学エクステンション講座を利用する都市情報学部生の皆さんを、対象講座の受講料の一部を補助することで支援します。

### 補助内容および支給方法

- (1) 後援会が指定するエクステンション講座を受講した場合、申請に基づき、一人につき、1講座分の受講料の一部を補助いたします。
- (2) 補助の対象となる講座、補助額は、次のとおりです。  
※受講料は2021年のもの

補助対象講座名	受講料（後援会補助金額）
公務員 国家一般職・地方上級（行政職）コース	90,000円（8,000円）
公務員 市町村・警察・消防コース	54,000円（8,000円）
公務員 基礎 通年コース（2年生対象）	51,000円（5,000円）
公務員入門コース（1年生対象）	12,000円（2,000円）
SPI試験対策講座	11,000円（3,000円）

- (3) 補助金の支給は、本学エクステンションセンターに受講料の全額が納入された後、学生本人または学資負担者名義の口座振込で行います。なお、予め納入受講料額から補助金額を差し引くことはできません。
- (4) 補助金の支給期日は、補助申請月の翌月末日まで（3月は卒業式日まで）に完了する予定です。

### 申請要件（資格）

- (1) 名城大学都市情報学部在籍（休学中でも申請可）し、かつ父母が都市情報学部後援会に入会していること。
- (2) 都市情報学部後援会が補助対象に指定した講座を受講して、全日程が終了した後に当該講座の出席率が7割以上であったことが確認できること。なお、ナゴヤドーム前キャンパス事務室内のキャリア支援窓口で各講座の出欠状況が確認できます。各自で申請前にお問い合わせのうえ、必ず申請要件を満たしていることを確認してください。

### 申請方法および申請期間

- (1) 補助希望者は、都市情報学部後援会指定の書類を添えて期間内に申請してください。
- (2) 申請期間は、当該講座の最終開講日の14日前から3月中旬までといたします。

### 申請書類

- (1) エクステンション講座受講料補助申請書
- (2) 銀行口座振込依頼書 ※通帳の写しを添付

## 問い合わせ・申請書類の提出先

〒461-8534 名古屋市東区矢田南四丁目102番9  
名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス  
都市情報学部事務室内 都市情報学部後援会事務局